



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

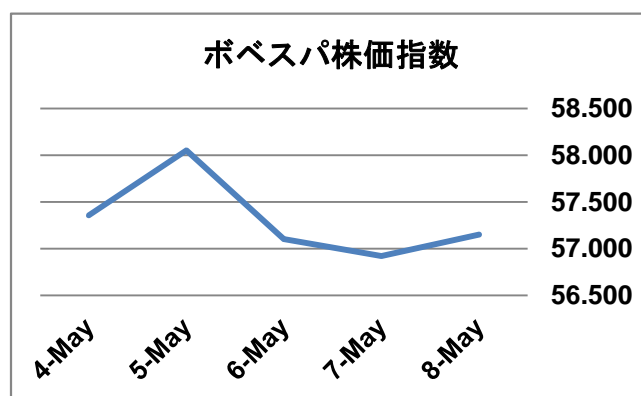
			5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,0860	3,0560	3,0340	3,0250	2,9740	-0,0510
	BRL/JPY	Spot	38,93	39,23	39,36	39,55	40,27	+0,72
	EUR/USD	Spot	1,1146	1,1186	1,1347	1,1269	1,1199	-0,0070
	USD/JPY	Spot	120,12	119,85	119,44	119,71	119,76	+0,05
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,61	13,41	13,69	13,71	13,71	u,c,
	Future	1Year(p.a.)	13,68	13,69	13,79	13,81	13,77	-0,0400
	On-shore	6MTH(p.a.)	1,604	1,576	1,617	1,638	1,580	-0,058
	USD	1Year(p.a.)	2,317	2,282	2,322	2,297	2,163	-0,134
株式	Bovespa指数		57.353,98	58.051,61	56.930,24	56.921,39	57.149,33	+227,94
CDS	CDS Brazil 5y		241,47	236,59	234,00	235,44	226,15	-9,29
商品	CRB指数		227,836	230,842	227,571	226,828	229,159	+2,331

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.0150で寄り付いた。
- 週初めは週末に発表されたHSBC中国製造業PMIが予想を下回ったことを受けてリスク資産の売りが見られた上、伯中銀が毎月ロールしているドル売りSwapポジションの6月に満期を迎える分のロールに関してはペースを落としたことからレアルの上限は3.0000程度であるというコンセンサスが市場で広まり、レアルは週間安値となる3.0950まで急落した。
- しかし翌5日には発表された3月の米貿易赤字は514億ドルと、前月の359億ドルから赤字幅が拡大したことを受けてドルは対主通貨で下落、レアルはつられて反発する展開となった。
- 週央にかけては発表された4月の米ADP民間雇用者数が約1年振りの低い伸びとなったことからドルは下落、レアルは一気に3.0400まで続伸した。
- 一方で翌7日になると米新規失業保険申請件数が市場予想を下回った上、過去4週間の平均が15年振りの低水準となったことを受けてドルは対主要通貨で上昇、レアルは3.0600まで反落した。
- 週末にかけては米雇用統計で4月の雇用者数の増加幅が前月よりも拡大した一方で、前月分が大きく下方修正されたことで米利上げ見通しが後退し、ドルは大きく売られた。つられてレアルは大きく反発、週間高値2.9750を付け、結局同水準で越えた。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所: Bloomberg

ボエスパは2014年8月以来の水準まで回復

ペトロブラスが5日連日で14%上昇したほか、エネルギー株の上昇を受けてボエスパ指数は2014年8月以来の水準まで回復した。しかし週央以降は同銘柄に加えて銀行株も売られる展開となり、結局週間ベースでは1.5%強の上昇で終わった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：2.90－3.10

今週は週初めから伯中銀によるドル売りスワップのロールペース低下に市場は大きく反応し、レアルは一気に3.09まで急落した。しかし財政調整に対する期待感が高まった上、重要な米経済指標の結果が予想比悪い結果となったことからレアルは大きく反発し、再び2.90台に入った。来週は米経済指標の発表にレアル相場は大きく左右されるほか、結ドル売りスワップのロールペースに対する伯中銀のスタンスを試す動きも見られると予想されるため、レアルは更に上昇する可能性が十分にある。更に国内では財政調整の進展のほか、小売売上高や経済活動等の経済指標の発表が注目される。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0.64%	0.70%	0.61%
ブラジル	IBGEインフIPCA(前月比)	0.75%	0.71%	1.32%
ブラジル	IBGEインフ率IPCA(前年比)	8.23%	8.17%	8.13%
米国	非農業部門雇用者数変化	228K	223K	85K
米国	製造業雇用者数変化	5K	1K	0K
米国	失業率	5.4%	5.4%	5.5%
米国	民間部門雇用者数変化	225K	213K	94K

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Apr 30	0.62%	0.71%
ブラジル	5/11	貿易収支(週次)	Apr	--	46.2
ブラジル	5/12	FIPE CPI-週次	Apr	\$200M	\$458M
米国	5/13	MBA住宅ローン申請指数	Apr	--	\$16979M
ブラジル	5/14	小売売上高(前月比)	Apr	--	\$16521M
ブラジル	5/14	小売売上高(前年比)	Apr	--	0.70%
ブラジル	5/14	広義小売売上高(前月比)	Mar	--	2.74%
ブラジル	5/14	広義小売売上高(前年比)	Mar	--	79.7%
ブラジル	5/14	登録雇用創出合計	Mar	-0.7%	-0.9%
米国	5/14	PPI 最終需要(前月比)	Apr	--	47.0
米国	5/14	新規失業保険申請件数	Apr	--	7.88%
ブラジル	5/15	FGVインフ率IGP-10(前月比)	Apr	--	5.69%
ブラジル	5/15	経済活動(前月比)	Apr	0.84%	1.21%
ブラジル	5/15	経済活動(前年比)	Apr	3.82%	3.46%
米国	5/15	鉱工業生産(前月比)	Mar	--	7.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。